

令和2年度 第1回山梨県失語症者向け意思疎通支援者養成研修 アンケート結果(まとめ)

受講者皆さまからのアンケートを集計しました。お忙しい中、ご協力をありがとうございました。

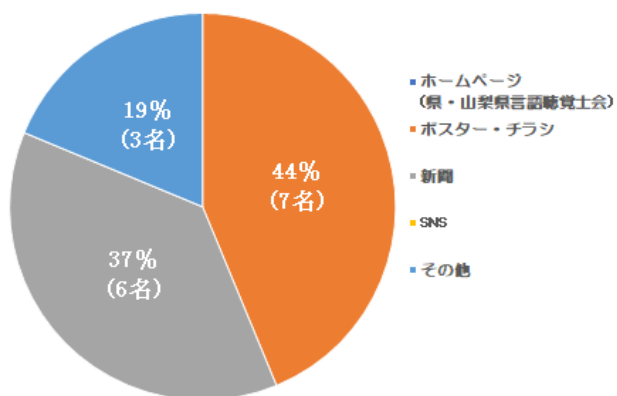
新型コロナウイルス感染拡大という未曾有の社会状況の中で、この研修会が無事に開催できましたのもひとえに受講者皆さまのご協力のおかげです。いただいた貴重なご意見を令和3年度の事業に反映できるように山梨県言語聴覚士会一同、努力してまいりますので、今後とも、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

令和3年5月15日

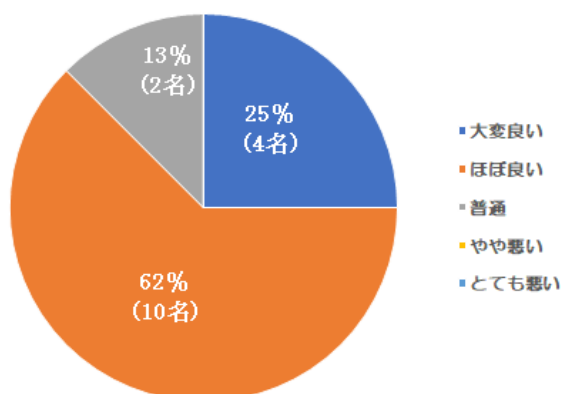
一般社団法人山梨県言語聴覚士会

運営委員一同

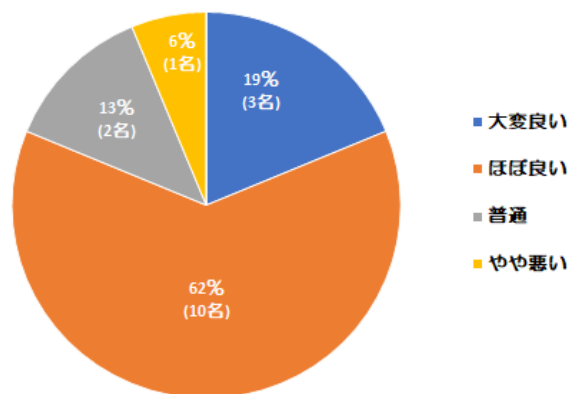
この事業を知ったきっかけ



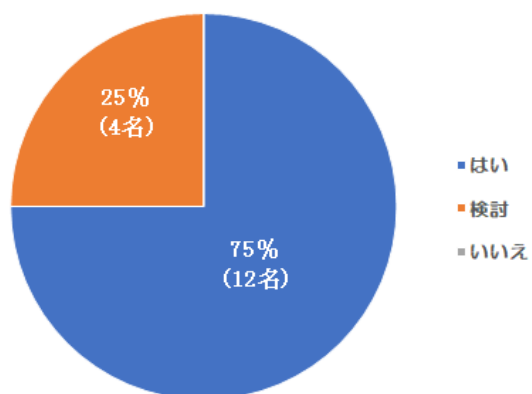
日程について



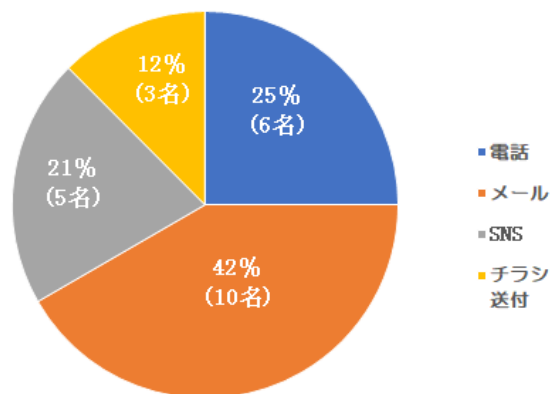
会場について



今後の活動への協力について



今後に取りやすい連絡方法



【質問1】この事業を何で知りましたか

○ポスター・チラシ

- ・ 会社や職場への案内
- ・ 甲府市地域包括支援センター

○新聞

○その他

- ・ 山梨県聴覚障害者情報センターからの情報提供
- ・ 職場のすすめ
- ・ 山梨県言語聴覚士会から事業所へのダイレクトメール

【質問2】受講しようと思ったきっかけは何ですか

<主なもの>

①仕事で失語症のある方と関わりがあった

- ・ 失語症について勉強したいと思った。
- ・ 当事者に寄り添った支援を改めて学びたい（気持ちや想いを知りたい）。
- ・ 失語症の方とコミュニケーションが取れるように少しでも役に立ちたいと思った。

②これまで関心を持っていた

- ・ 地域貢献、社会貢献できればと考えた。
- ・ 仕事の対象者が失語症の方だった。知識が少ないままお会いしたが、理解しきれていないため会話が困難になってしまい、お互い困り果ててしまったという経験があり、独学で色々調べてはみたが、理解できず勉強したいと思い、応募した。
- ・ 受け持ちの患者さんが重度の失語症であり、失語症の方がどのような手段であれ、コミュニケーションが取れるように少しでもお役に立てたらと思い受講した。
- ・ 以前、介護福祉士の勉強を行う過程で、失語症当事者の方々と接する機会があり、得るものが大きく、いつかまたボランティアなどで関わりをもたせていただける機会があればと考えていた。新聞で募集記事を読み、興味がわき受講を希望した。
- ・ コミュニケーションスキルを学びたいと思った。
- ・ 夫が失語症のため。
- ・ 仕事以外で社会と繋がること、何か社会貢献できればと考えた。
- ・ 新聞の記事を読み、以前、義弟が高次脳機能障害となり言葉を取り戻すときのリハビリに同伴した時、言葉を思い起こす過程が感慨深いものを感じた。昨年まで従事していた訪問看護の利用者に、「私の気持ちを伝えたいがどうしたらよいか」と尋ねられた時があり、知識も理解も浅く、何を支援できるのかと思い悩んだことがあった。私自身が失語症について学び支援させてもらいたいと思った。

【質問3】事業の日程はいかがでしたか

- ・ 1週間空くことにより、業務と講習の間に休みが取れ、切迫感が少なかったのが良かった。
- ・ 2週間に1回程度のペースが丁度よく、次に向けて予習もできるので安心できる。
- ・ 月2回のペースが良かった(毎週はちょっと厳しいかなと思った)。

<要望・今後の課題>

- ・ 寒い時期が入っていたため、当事者も大変だったと思う。7～11月の開催が良いと思う。
- ・ 講習会の日程の間隔が空いてしまうと、少し忘れてしまうこともあったため、できるだけ間を空けない方が良かったと思う。

【質問4】複数の会場を使用しましたが、概ねいかがでしたか

- ・ 気分転換になった。
- ・ 複数の会場で自宅より遠い所、近い所があったが、受講者にとっては公平であったと思う。
- ・ コロナ禍での会場選びは苦労されたと思う。時々会場を間違えそうになったがやむを得なかったと思う。
- ・ 人数的に場所を確保することが難しいと思うため、複数の会場を利用すると良い。
- ・ できるだけ同じ会場の方が分かりやすいと思うが、複数の会場の使用でも慣れてしまえば問題はなかった。

<要望・今後の課題>

- ・ 駐車場がいっぱいで苦労したことがあった。
- ・ 分かりづらい会場が1か所あり、会場の外に分かりやすい目印があれば助かる。

【質問5】講義の内容について、よかったこと

- ・ 説明が分かりやすく理解できた。
- ・ 今後の仕事に役立つ内容だった。
- ・ 基礎から学べ、講師の話を理解しやすかった。
- ・ 失語症のメカニズムについて理解できた。
- ・ 失語症の病態、症状に対する対応方法をわかりやすく伝えてくれたことが良かった。
- ・ スライドやパワーポイントで分かりやすく説明していただいた。
- ・ 受講者同士、話をできる時間があるのも、その都度、分からなかった所を確認しあえて良かった。
- ・ コミュニケーションに必要な会話技術を教わることができた。
- ・ 病因、症状、制度、家族や本人の思いや、社会での対応の困難な部分など、いろいろ学びコミュニケーションをもち続けることの大切さやスキルを学ばせてもらった。
- ・ 支援者が関係者への働きかけを行いご本人の気持ちを正しく理解していくことの大切さを学んだ。
- ・ 導入として当事者や家族が今何を困っているのか、どのような支援者が必要なのかを具体的に知っていた方が良かったと思った。「生活のしづらさ」「ある日突然失語症になる」などの項目が実感として入りや

すいと思った。

- ・ 理論や目的をしっかり理解した上での基本がしっかりできていないと偏った支援になってしまいかねなかったと思う。基礎の話や実態を聞き、支援者の目的が明確になった。
- ・ 外出実習の前の講義では私達が気づかない部分をたくさん教えてもらえた。
- ・ 失語症概論から始まり、心構え・支援実習・外出同行支援まで良かった。

<要望・今後の課題>

- ・ 失語症について医学的な説明や治療内容、リハビリについて、もう少し詳しく学ぶことで、当事者への理解が深まるのではないかなと思う。
- ・ 福祉サービスの内容を学ぶ時間をもう少し取ってほしいと思う。
- ・ 支援する人の意識を向上させるためにも、一人ひとりの人権を守る必要があると思う。「人権」に関する内容も必要だと思う。
- ・ コロナのためにやむを得なかったと思うが、他の受講者との意見交換の場をもっと増やしてほしかった。一方的な指導というイメージが強かった。

【質問6-1】実習の内容について、よかったこと

- ・ 当事者と実際に関わることで、支援者の役割の難しさを実感することができた。
- ・ 当事者の方と直接会うことにより、講義ではわからない当事者個々の困りごと、病気の重さにより日常生活への支障の違いを感じられた。当事者に会うことができて良かった。
- ・ 先生方が1テーブル1人配置され、アドバイスが聞けたことで安心感が大きかった。
- ・ 当事者様の協力を頂き、その場での体験で多くを学んだ。伝え方、確認の仕方など、色々な方法での対話を行うことができ、当事者の協力があつたから学べたことが多かった。
- ・ 多くの当事者の方と関わりを持てたことが、とても勉強になった。一人ひとりの方、それぞれの個性があり、関わり方も1つではないということを実習で学ぶことができた。
- ・ 「当事者の方にヒントを出していただきそれを当てる/私たちが、当事者の方にヒントを出す」実習は、頭ではわかっているけど言語にするとときに違ってしまう、一部しか表現できないなどリアルに体感できた。
- ・ 最終実習では雨・寒さ・買い物(取り寄せ・宅配)など、いくつもの切り替え、説明が必要となり、書いて確認し伝えることを実践する場面や、イオンモールの大きな広場で、お子さんやそれぞれ家族の動きがあり、安全な移動のために周囲の様子を確認し続ける必要があつた。
- ・ 当事者の体調へのフォローも必要だと感じ、その際には予定を検討しなおすことも学んだ。
- ・ 身体介助実習の講義がとても楽しくてわかりやすく良かった。

【質問6-2】実習の内容について、改善してほしいこと

- ・ 当事者と直接やりとりする時間がもっと多い方が良いと感じた。同じグループの人同士で遠慮してしまい、傍観者になってしまうことがあつた。
- ・ 一人対三人・四人では当事者が緊張してしまうのではないかな。一回で良いので、一対一のやり取りも経験したかった。

- ・ 当事者が参加してくださるため、スタッフが事前に準備・当日の送迎などされており、大変だと思った。次年度より実習のアドバイスやその実習での振り返りなど、その場で多くの方に参加していただけるよう、会の準備や当事者さんの対応は私達支援者の一期生がお手伝いできると良いと思う。
- ・ イオンモールでの実習は雨の寒い中で行われ、駅から会場への移動に買い物と当事者にとっては慌ただしかった。「駅周辺が良い」と話されていた。

【質問7-1】研修全体について、よかったこと

- ・ これまで実現できなかった事業が言語聴覚士の皆様のご尽力により実施され、毎回、和やかな雰囲気ですべての時間を過ごすことができ、感謝している。
- ・ 受講者同士、不安なこと、分からないことを相談し合え、知識のない私でも安心して受講することができた。
- ・ 先生方も話しやすい雰囲気を作ってくださいるので、質問しやすかった。また、話が聞きやすく、分かりやすく、講義があっという間に終わっていた。
- ・ 丁寧に具体的な指導をしてくださり、勉強になった。特に実習後の振り返りでは、反省や質問に対し、的確なアドバイスをしてくださったことが大変参考になった。
- ・ 言語聴覚士の方々の熱意と、受講者達の真剣さが融合し、活気ある講習会だった。
- ・ 毎回、講師陣の熱い思いと、当事者の自ら私達に教えてくださるための参加がとても有り難かった。
- ・ 何のために行っている研修なのか、目標がしっかりあるため、毎回有意義だった。
- ・ ほのぼのと穏やかに、少し厳しく、程よい緊張感のもと、素晴らしい研修だった。

【質問7-2】研修全体について、改善してほしいこと

- ・ 講習者間の親睦や交流が持てるような機会が欲しい。
- ・ 時間がなかったこともあると思うが、外出同行支援のイオンモールは少し広いため、身近なスーパーのようなところが良かった。
- ・ 同行支援の演習計画を立てるのは大変だったと思うが、最終日に1日で終了なのは少し雑だと思った。その後の振り返りをグループ・STと共有しての学びになると思うが、最終日はそれもシェアできなかったのも、せめて実施後にシェアする日を設けてほしかった。
- ・ 講師陣との意見交換をして、自分の思いと支援とのギャップなどを話し合いたかった。講師陣との距離感を縮めたかった。
- ・ こんなに丁寧な研修講義は関心を持つ方に受けてもらいたい、多くの人に知ってもらいたいと思う。いつか公開講座を開いて、自由に参加してもらい多くの方の関心をより一層深くしていただけると良いかと思う。

【質問8】感染対策(チェックシート、体温管理表、会場の感染対策など)について

- ・ 2週間前からの体調管理を行うことにより、自分の中での「注意しなきゃ」という意識が持てて良かった。

- 会場の換気や、テーブルやいすなどのアルコール除菌など、しっかりとした 感染対策が取られていたと感じた。
- 講義のたびに、体調管理について声掛けしたことでみんなの意識が上がったと思う。スタッフのおかげで欠員せず終了できた。
- 室内の感染対策もきちんとしており、フェイスマスク・フェイスガード・アクリルボードと使用してコロナと闘った研修でした。

<要望・今後の課題>

- アクリルボードの代わりに、上下が不織布になっているマウスガード(マスクと同じ形状で、口元だけが透明の物)を使用してはどうか。
- 少し厳しすぎではないか。受講者同士が話す機会を今後は作っても良いと思う。

【質問 10】今後受講しやすい研修会にするために、お気づきの点を記入ください

- 今後、登録して活動するにあたり、養成講座だけでなく、登録者の研修が必要ではないかと思う。可能であれば、医療現場・福祉現場での言葉のリハビリの見学ができないか。どのようにリハビリをして、言葉を獲得できるかなど支援の現場を見てみたい。
- 言語聴覚士の活躍内容・指導内容等もお聞きしたかった。
- スタッフから「上から目線な」声かけをされモチベーションが下がってしまった。「嫌だな」という思いをした。
- 今後、協力をしたいと思うが、どのような立ち位置で参加するのか、グループに入る講師の役割ももう少し共有していただければと思う。
- 少人数でのグループワークにより、受講しやすい研修会だったと思う。
- 男性の参加者がもっと多いと良いので、誘ってみたい。
- 「いろいろなタイプの支援者がいていい、違っていいんです」ということを紹介して下さった時から気持ちが楽になりました。(良い意味で) 気持ちが前向きになりました。それまでは皆と同じように優れた支援者にならなければという気負いと緊張でがちがちになっており、疲れから途中で脱落していたかもしれません。